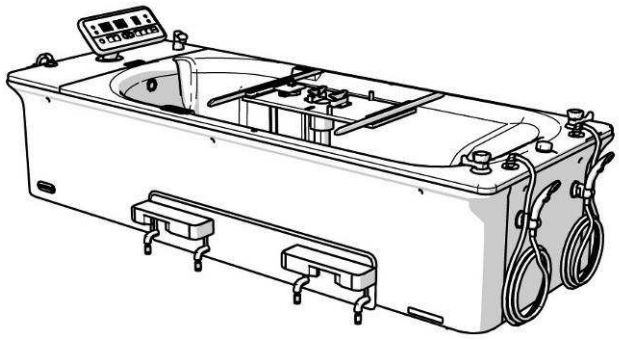
移乗エイドバス

スピノ

CB－100C/R/L

SAKAImed

取 扱 説 明 書



●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

ご使用になる前に ····· 2
安全上のご注意 ····· 2
各部の名称 ····· 11
組み合わせ ····· 16
始業点検について ····· 17
入浴剤、薬液の使用について ····· 19

操作方法 ····· 20
電源の操作 ····· 20
お湯をはる ····· 22
・排水栓を閉じる ····· 22
・自動給湯で給湯する ····· 23
・差し湯で給湯する ····· 24
給湯が停止した場合 ····· 25
入出浴作業 ····· 26
・ストレッチャーを浴槽へ連結する ····· 26
・洗浄台を浴槽へ連結する ····· 28
・担架を浴槽内へ移動する ····· 30
・浴槽を上昇させ入浴させる ····· 31
・入浴時間表示の見方 ····· 32
・浴槽を下降させ出浴させる ····· 33
・担架をストレッチャー／洗浄台へ移動する ····· 34
・ストレッチャーを分離する ····· 35
・洗浄台を分離する ····· 36
バブラーの使い方 ※オプション CB-10 付のみ ····· 37
ハンドシャワーの使い方 ····· 38
シャワーフックの取り付け方 ····· 40
塩素殺菌 ※オプション CB-10 付のみ ····· 41
・浴槽殺菌 ····· 41
・浴槽水殺菌 ····· 42
薬液補充について ※オプション CB-10 付のみ ····· 43
非常時の操作 ····· 46

日常のお手入れ ····· 48
清 掃 ····· 48
・手動での殺菌方法 ····· 49
メンテナンス ····· 50

このようなときは ····· 51

機器について ····· 55
保守・点検について ····· 55
保証とアフターサービス ····· 56
仕 様 ····· 58

用 途

本製品は、介助を必要とする入浴者を担架に寝かせた状態で、快適かつ容易に入浴させることのできる入浴装置です。

特 長

●安定した昇降速度

耐久性のある油圧リフターによる安定した昇降速度を提供します。

●安全機構

湯温管理システム、担架脱落防止機構、浴槽の上昇下降時には水没や、担架操作の誤りを防ぐための仕組みを備えており、入浴される方の安全を全方向から守ります。

●メインパネルに表示を集約

浴槽から独立したメインパネルには、入浴作業の一連の動作中、どんな場面でも、知りたい情報を見やすい角度で大きく表示しています。安全に関わる表示・警告はメインパネルに全て表示され、いつでも容易に確認することができます。

●豊富な周辺機器

スピノ浴槽に接続できるストレッチャー、電動高さ調節式ストレッチャー、洗浄台。さらにその先にスピノ用着衣ベッドを接続すると、全てフルフラットでのトランスファーが可能になり、移乗作業が容易に安全に行えます。また、接続しないタイプの着衣チェアもご用意しています。

●シンプルな形状

凹凸の少ないシンプル形状は、お手入れも簡単です。自宅のお風呂のかたちを思わせるすっきりしたフォルムのデザインです。

本書に記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

⃠ 禁止	行為を禁止することを示した表示です。
❗ 強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

その他の表示

お願い	製品を使用する上で留意していただくことを示した表示です。
参考	参考にしていただくことを示した表示です。

ご使用になる前に／安全上のご注意

電源・給湯水圧

⚠警告

電源の接続、及び修理は行わないこと

正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

給湯水の接続、及び修理は行わないこと

正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

給湯水圧は、適正圧力及び適正圧力比の範囲内であること

湯・水の適正使用範囲は 120～150kPa（約 1.2～1.5kg/㎠）、圧力比は最大 2：1 です。

- 適正範囲を外れると給湯やシャワーの湯温が変動し、やけどをする恐れがあります。
- 配管の破損や水漏れが発生する恐れがあります。

⚠注意

使用電圧は三相 200Ｖ±5%の範囲内で使用する

使用電圧が指定範囲外の場合、機器の故障及び誤作動の原因となります。

担架上の作業

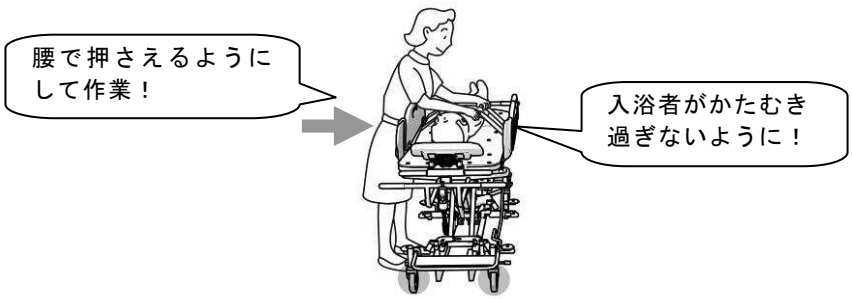
⚠警告

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意

- 担架上での体位変換作業は、作業の反対側のサイドフェンスを起こしたまま行ってください。
- 安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから離れないでください。

洗身作業などで入浴者を側臥位にする場合は、担架やサイドフェンスを腰で押さえる

ストレッチャーの転倒を予防します。



ストレッチャー／洗浄台の「連結」操作

⚠警告

ストレッチャー／洗浄台を浴槽へ連結後、連結完了ランプの点灯を確認すること

連結が不十分だと、担架の脱落などの原因になります。

ストレッチャー／洗浄台が浴槽のガイド&キャッチャーに連結されたことを確認してから、キャスターをロック

キャスターがロックされていないと、担架の脱落などの原因になります。

担架のロック解除レバーは、浴槽とストレッチャー／洗浄台の連結を確認するまで操作しない

連結が不十分な場合、担架が落下する恐れがあります。

⚠注意

ストレッチャーを浴槽へ連結させるときは、ストレッチャーを上限まで上昇させる（高さ調節式のみ）

ストレッチャーを上限まで上昇させていない状態で、担架を浴槽内へ移動させると、浴槽に担架が当たり、担架や浴槽が破損する恐れがあります。

ストレッチャー／洗浄台の「分離」操作

⚠警告

連結ロック解除後は、速やかにストレッチャーの分離ペダルから足を離す

踏み続けたり、体重を乗せたりすると、ストレッチャーが傾いたり転倒する恐れがあります。

⚠注意

分離ペダルには無理な荷重をかけない

ペダルのフレームが変形したり破損する恐れがあります。

担架がストレッチャーまたは浴槽にロックされたことを確認するまで、ストレッチャーの分離ペダルを踏まない。担架が洗浄台または浴槽にロックされたことを確認するまで、洗浄台の横移動ペダルを踏まない

万一の担架脱落事故を防止します。

浴槽からストレッチャーを分離する際は、平行に引く

片側のフックのみ連結させる・引き離すような動作を無理に行うと、機器を破損する恐れがあります。

浴槽からストレッチャーがうまく分離できない場合、無理にペダルを踏みつけず再度連結してから改めて分離操作を行う

うまく分離できない（片側のフックのみ外れる等）場合に無理な操作を行うと、機器を破損する恐れがあります。

担架を浴槽とストレッチャー／洗浄台の間で移動する

⚠警告

担架を移動する時は、ストレッチャーを上限まで上昇させること（高さ調節式ストレッチャーのみ）

ストレッチャーと浴槽のレールの高さが合っていないと、担架が脱落する恐れがあります。

担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う

移動中に手を離すとロック時の衝撃が強く、入浴者に不安感を与えてしまいます。
繰り返し勢いよく担架を押すと、担架が破損し落下事故の原因になります。

担架を移動し、浴槽またはストレッチャー／洗浄台にロックした後は、担架を押し引きしてロックを確認

担架がロックされていない状態で、ストレッチャー／洗浄台を切り離すと、担架が脱落する恐れがあります。

介助者の手の挟み込みに注意

担架をストレッチャー／洗浄台、または浴槽へ移動する際には、担架座面部の裏側に手を入れないでください。手が挟まれけがをする恐れがあります。

⚠注意

レール台の上に物を置かない

担架を浴槽内へ移動するときに、挟み込み等を起こして思わぬ故障の原因になります。

ご使用になる前に／安全上のご注意

入浴

⚠警告

入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認
やけどの恐れがあります。

給湯や差し湯を行うときは、「給湯温度」表示と手で湯温を確認
給湯、給水の圧力の急変により、一時的に給湯湯温が急に変わる恐れがあります。

入浴中に高温の湯を差し湯するときは、入浴者の足先にかからないように注意
やけどの恐れがあります。

入浴中は入浴者の状態を常に看視すること
入浴中に入浴者の姿勢が崩れた場合、水没する恐れがあります。

入浴スイッチを押す前に、担架のロックを確認
担架を浴槽に移動させたら、確実にロックされているか担架を押し引きして確認してください。

⚠注意

入浴スイッチを押す前に、浴槽内に不要物がないことを確認
浴槽の中などに手桶やタオル等があると、挟み込み等を起こし故障の原因になります。

出浴

⚠警告

浴槽を下降させるときは、入浴者の状態に注意
担架上から手足がはみ出ていた場合、浴槽下降時に身体を挟み込む恐れがあります。

⚠注意

浴槽を下降させるときは、浴槽の周囲に物がないことを確認
ラックや手桶等があると、浴槽が下降する際に床との間に挟み込んで破損の原因になります。

ご使用になる前に／安全上のご注意

ハンドシャワー

⚠警告

入浴者にハンドシャワーをかけたままの状態で離れない

介助者が離れている間に温度が急変した場合、やけどをする恐れがあります。

ハンドシャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中にも手で湯温を確認

- 給湯・給水の水圧の急変により、シャワーの温度が急に変わることがあります。
- 温度調節後、設定温度になるまで湯を出し続けてください。

ハンドシャワーで高温のお湯を使用した後は、温度調節ノブを適温に戻す

温度調節ノブを高温側のままにすると、次に使用するときにやけどをする恐れがあります。
低温側に回して、適温になるまで湯を流してください。

⚠注意

流量調節レバーはゆっくり操作する

流量調節レバーを止まる側に急に回すと、水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

ハンドシャワー使用後は、シャワーの開閉ボタンを「開く」の状態にしたまま、流量調節レバーでシャワーを止める

開閉ボタンにて長時間止水させた場合、水漏れする恐れがあり、シャワーヘッドの寿命が短くなります。

シャワーフックの取り付けは、ダイヤルを十分回して固定する

ダイヤルの回転が不十分の場合、使用中にフックが落下し、フックやシャワーヘッドが破損する恐れがあります。

入浴剤

⚠注意

イオウ成分の入った入浴剤は、使用しない

ご使用になると、浴槽の金属部が腐食等を起こしたり、浴槽表面の光沢を失ったりする恐れがあります。

粉末状の入浴剤は使用しない

ご使用になると、溶け残ったものが配管内に付着して故障の原因になる恐れがありますので、入浴剤は液状のものを使用してください。
どうしても粉末状の入浴剤を使用したい場合は、別容器でよく溶かしてから使用してください。ただし、粉末状の入浴剤を使用したことによる故障については、保証期間内の製品でも保証対象となりませんのでご注意ください。

着色剤が入った入浴剤を使用する際は注意する

色や、においが付くことがありますのでご注意ください。

塩素殺菌（オプション搭載時）

⚠危険

次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠警告

誤って薬液を飲んだり、目に入った場合は、応急処置後、医師に相談する

- 飲み込んだときは吐かせずに多量の水や牛乳を飲ませ、「次亜塩素酸ナトリウム」を飲んだと言って医師に相談してください。
- 万一目に入ったときはすぐにきれいな水で 15 分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠注意

当社指定外の薬液を使用しない

当社指定外の薬液を使用すると、浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させる恐れがあります。当社指定以外の薬液のご使用により装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

薬液補充の際は下記事項に注意する

- 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。
- 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。
- 希釈した薬液は、1 回毎に使い切り、作り置きはしないでください。
- 空になった容器は、よく洗って保管してください。

タンクへの補充薬液は濃度が 1.5%のものを使用する

濃度が異なる薬液の使用は、殺菌効果への影響や、機器の故障につながります。

使用期限内の薬液を使用する

薬液は、経時変化により殺菌効果が弱くなります。容器に表示されている使用期限内でご使用ください。

薬液が誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す

薬液が皮膚、または衣類についたときはぬめり感がなくなるまで洗い流してください。薬液が衣類につくと、強い漂白力があり脱色しますので注意してください。

薬液の排出の際は注意する

- 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
- 排出する薬液は濃度を水で十分に薄めてから処理してください。
- 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。

使用後

⚠注意

メインパネル、入出浴操作部に水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

使用後は、浴槽内の湯を排水する
水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなるので、浴槽内のお湯を排水し、清掃してください。

使用後は、換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

使用後は電源スイッチで電源を切ってから、配電盤内にある専用の安全ブレーカーを切る
浴槽操作部の電源を切る前に配電盤内にある専用安全ブレーカーを切ると、万一給湯中だった場合、浴槽内に給湯をし続けてしまいます。

その他

⚠注意

付属のシリコングリスを使用する
当社指定以外のグリスを使用すると、故障の原因になります。

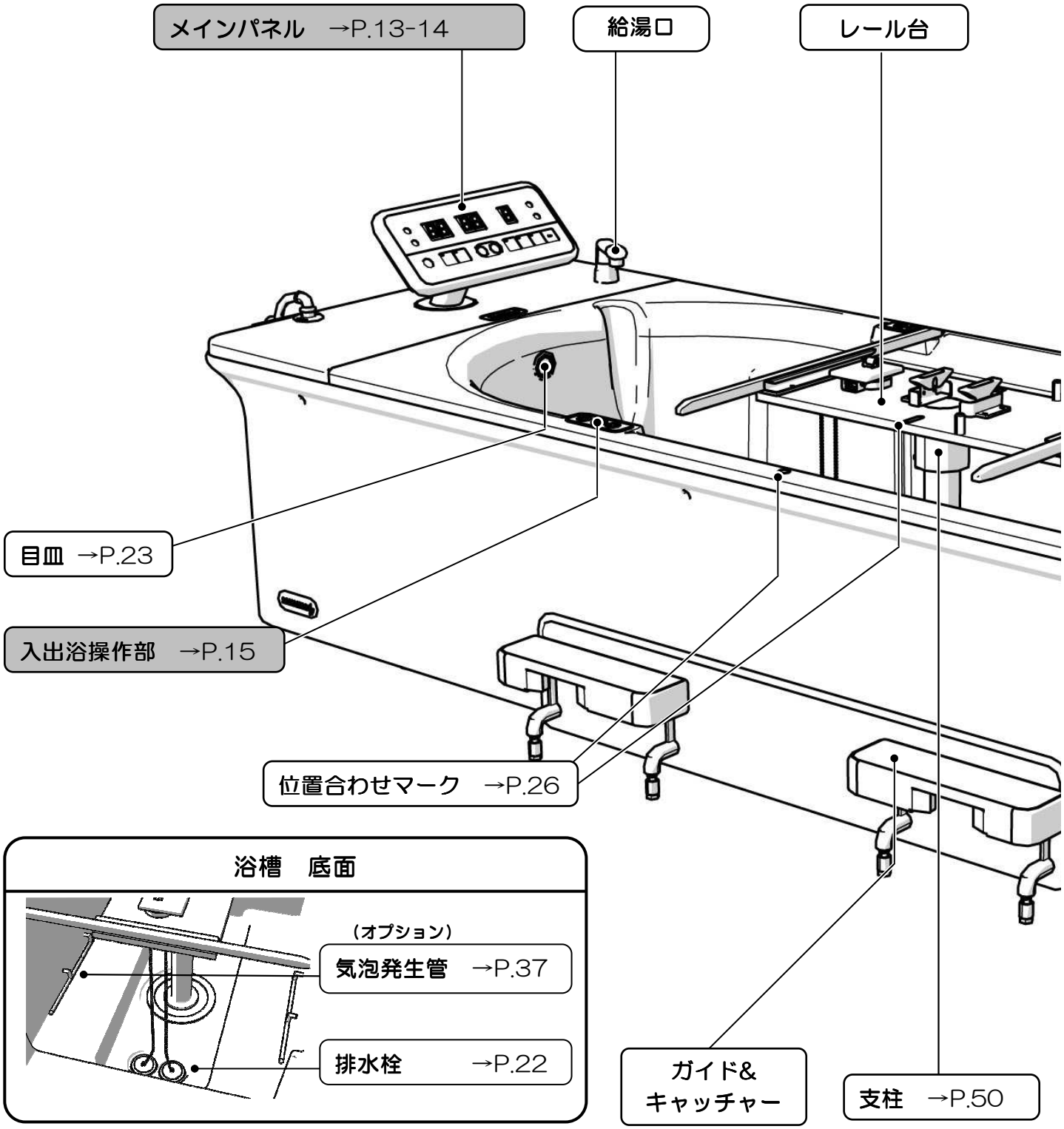
心臓用ペースメーカーを使用している方を入浴させるときは、医師に相談する
本製品が、ペースメーカーに影響を与えることがあります。

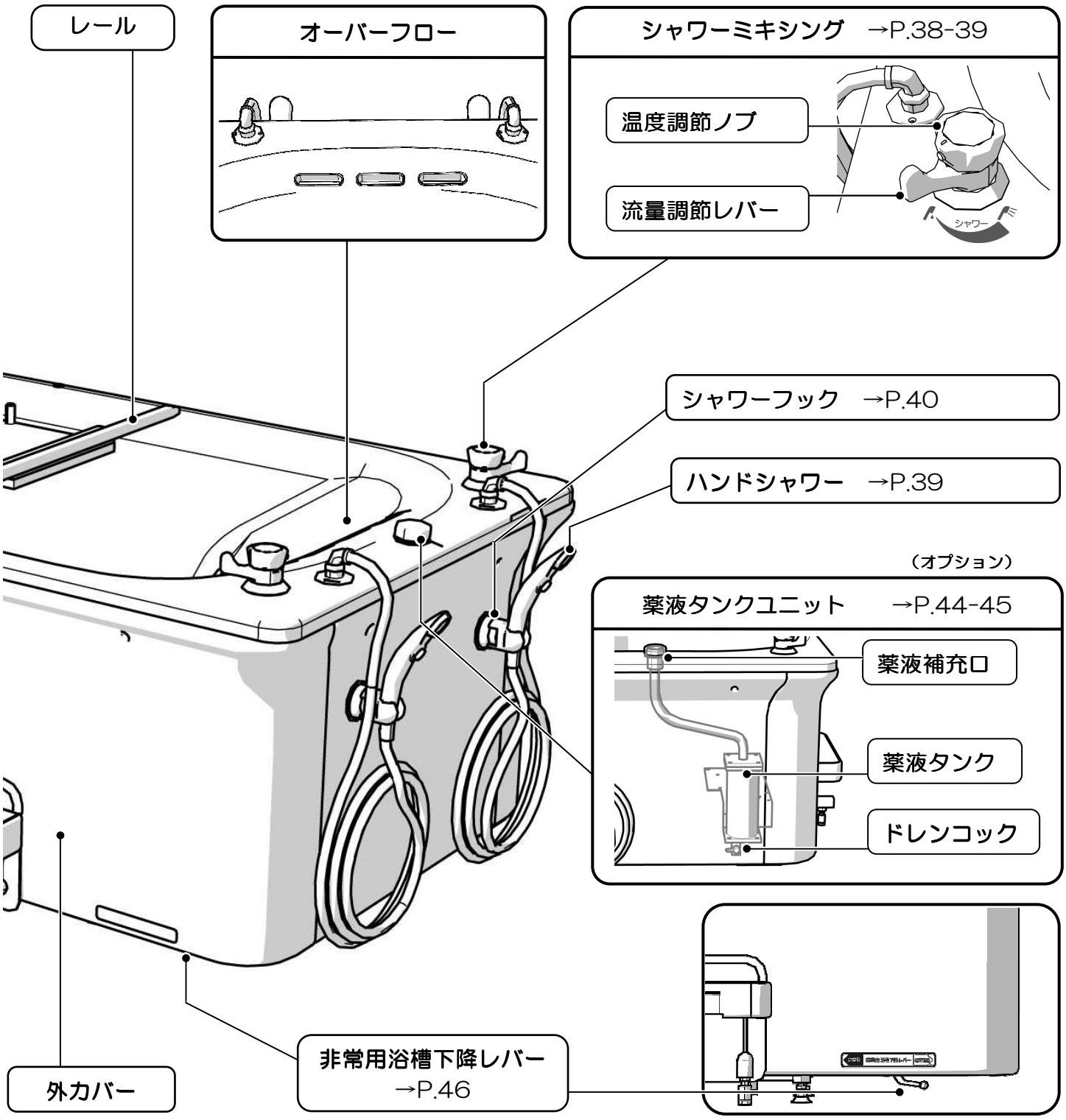
ご使用になる前に

各部の名称

浴槽本体:センタータイプ

(R/L タイプは入出浴操作部、シャワーミキシング、ハンドシャワー、ガイド＆キャッチャーが片側のみとなります)




レール
オーバーフロー
シャワーミキシング　→P.38-39
温度調節ノブ
流量調節レバー
シャワー
シャワーフック　→P.40
ハンドシャワー　→P.39
（オプション）
薬液タンクユニット　→P.44-45
薬液補充口
薬液タンク
ドレンコック
外カバー
非常用浴槽下降レバー
→P.46

給湯操作部

（※バブラー、殺菌装置はセットオプション扱いとなります）

浴槽内湯温表示

浴槽内の湯温を表示します。

給湯温度表示 →P. 23-24

浴槽への給湯温度、または設定温度を表示します。
44℃以上…点滅

シャワー高温ランプ→P.39

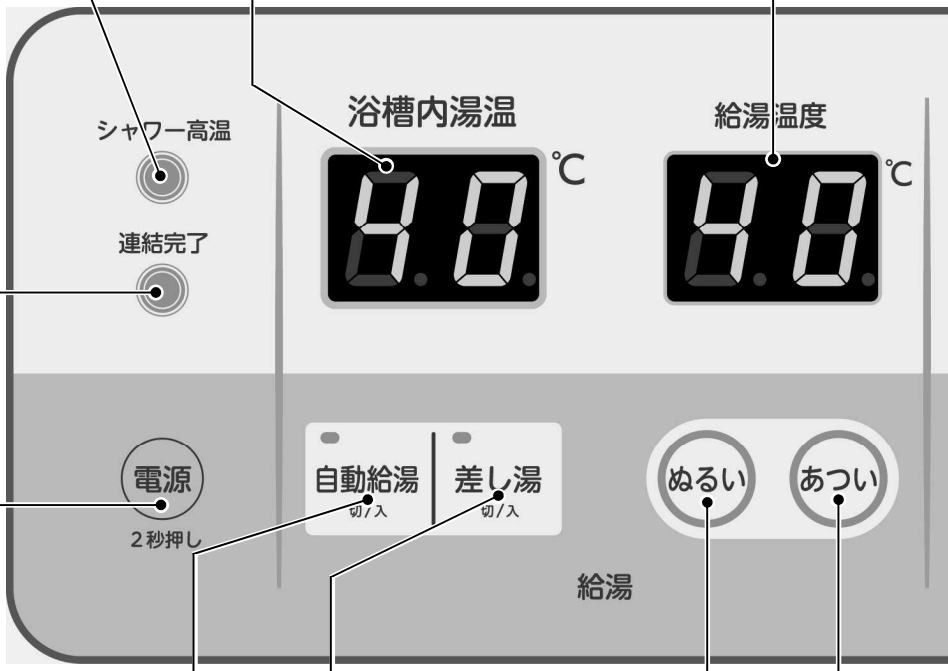
ハンドシャワーの温度が 43℃になると、赤く点滅します。

連結完了ランプ →P. 27、29

浴槽とストレッチャー/洗浄台の連結が完了すると、緑色に点灯します。

電源スイッチ →P. 20-21

電源の切／入ができます。



自動給湯スイッチ →P. 23

押すごとに自動給湯の切／入ができます。
自動給湯作動中はランプが緑色に点灯し、完了すると消灯します。

ぬるいスイッチ →P. 23-24

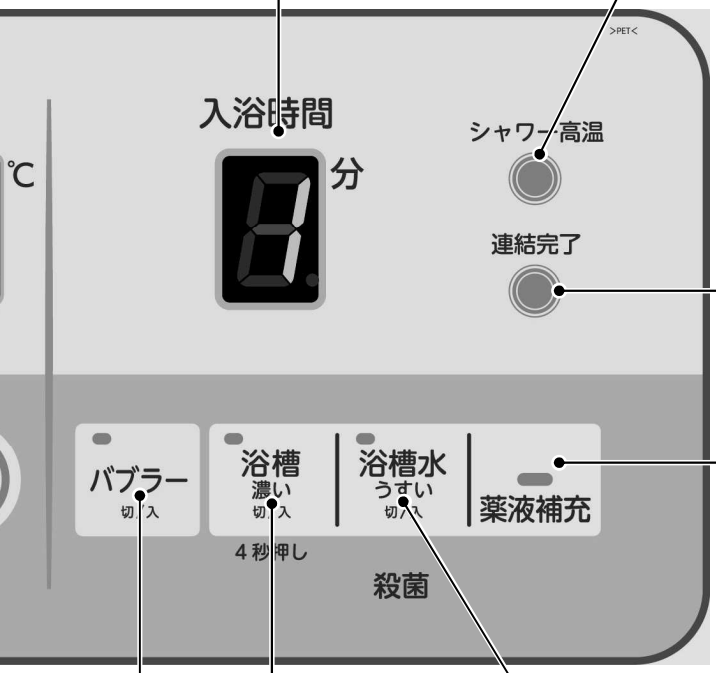
押すごとに給湯温度設定を１℃ずつ下げることができます。

差し湯スイッチ →P. 24

押すごとに差し湯の切／入ができます。
作動中はランプが緑色に点灯します。

あついスイッチ →P. 23-24

押すごとに給湯温度設定を１℃ずつ上げることができます。



入浴時間表示 →P. 32

入浴の経過時間を表示します。

シャワー高温ランプ→P.39

ハンドシャワーの温度が 43℃に
なると、赤く点滅します。

連結完了ランプ →P. 27、29

浴槽とストレッチャー/洗浄台の連結
が完了すると、緑色に点灯します。

薬液補充ランプ※ →P. 43

薬液の残りが少なくなると赤く
点灯します。

浴槽水殺菌スイッチ（うすい）※ →P. 42

浴槽水の殺菌を開始します。
作動中はランプが緑色に点灯します。

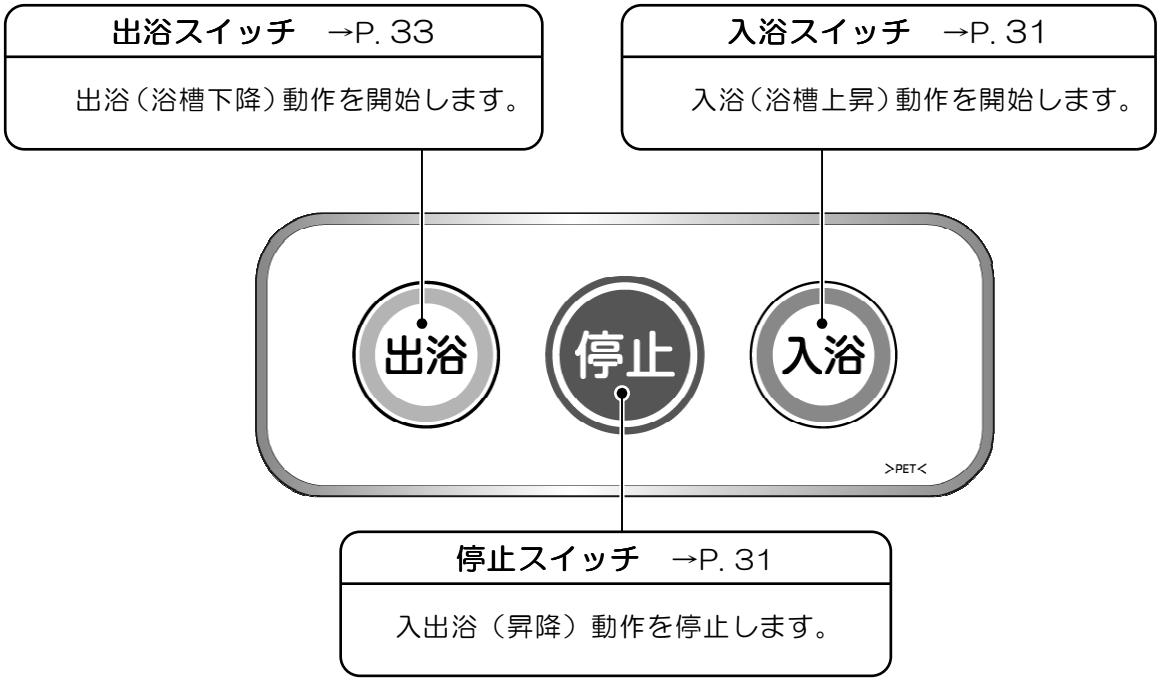
浴槽殺菌スイッチ（濃い）※ →P. 41

浴槽の殺菌を開始します。
作動中はランプが緑色に点灯します。

バブラースイッチ※ →P. 37

押すごとにバブラーの切／入ができます。
作動中はランプが緑色に点灯します。

入出浴操作部


出浴スイッチ　→P. 33
出浴（浴槽下降）動作を開始します。
入浴スイッチ　→P. 31
入浴（浴槽上昇）動作を開始します。
出浴
停止
入浴
>PET<
停止スイッチ　→P. 31
入出浴（昇降）動作を停止します。

ご使用になる前に

組み合わせ

浴槽の種類

浴槽には、左右からストレッチャー／洗浄台を連結して入浴できるC(センター)タイプと、片側のみのRタイプ、Lタイプがあります。
セットオプションとして塩素殺菌・気泡浴装置を選択設置しています。

		機能	
		ハンドシャワー シャワーミキシング 入出浴操作部	塩素殺菌装置 気泡浴装置 （CB-10）
種類	センタータイプ(CB-100C)	左右両側	オプション
	Rタイプ(CB-100R)	右	
	Lタイプ(CB-100L)	左	

※オプション品につきましては、メーカーオプション対応になります。

周辺装置（別売り）

担架（スピノ用）　・・・CBW-100
担架手すり（スピノ用）オプション部品　・・・CBW-10
高さ調節式ストレッチャー（スピノ用）　・・・CBS-110
ストレッチャー（スピノ用）　・・・CBS-100
洗浄台（スピノ用）　・・・CBN-100
着衣ベッド　・・・CBM-100
着衣チェア　・・・CBT-100

用途に応じて、組み合わせて使用します。
操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。

①浴槽の周囲に障害物はありませんか？

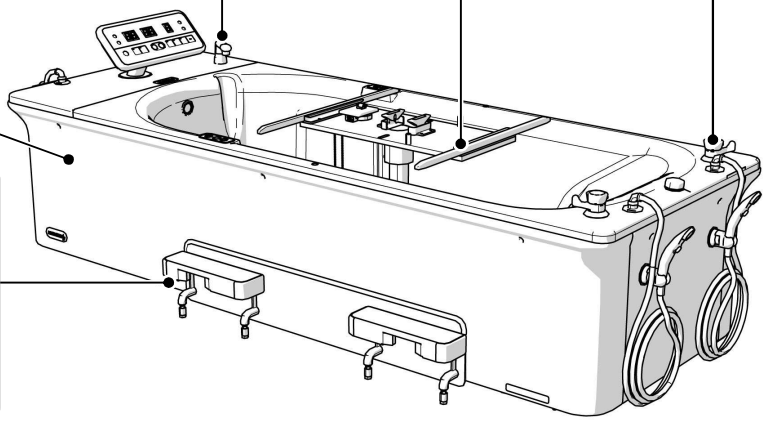
②外カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

⑬内カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

⑩担架の移動、浴槽の昇降動作に異常はありませんか？

④給湯口からの湯の漏れはありませんか？

⑪シャワーミキシングの温度調節は行なえますか？



③ガイド＆キャッチャー部のガタつき、取付ボルトの緩み、脱落はありませんか？

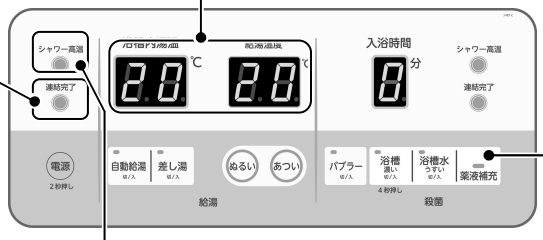
⑨ストレッチャー／洗浄台の連結操作、解除操作に異常はありませんか？
連結完了ランプは点灯しますか？

⑤温度表示・入浴時間表示は点灯していますか？

⑦浴槽内温度表示は浴槽内の湯温と合っていますか？

⑥給湯温度表示と実際の湯温は合っていますか？

⑧高温時　44℃以上で給湯温度表示が点滅し、46℃以上で給湯が自動停止しますか？



⑭薬液補充ランプが点灯していませんか？※

⑫シャワーが高温（44℃以上）の時に高温ランプは点滅しますか？

※殺菌装置（オプション）を搭載している場合

始業点検チェックリスト：スピノ　浴槽（CB-100）　　点検日　　年　　月　　日

	項目	点検内容	点検方法	ﾁｪｯｸ	備考
電源投入前	①	障害物の有無	目視	□ OK・□ NG	
	②	外カバーの外れ､ガタつき､取付ネジの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	③	ガイド＆キャッチャー部のガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	④	給湯口からの湯の漏れ	目視	□ OK・□ NG	
電源投入後	⑤	温度表示・入浴時間計の点灯	目視	□ OK・□ NG	
	⑥	給湯中の温度表示	・手を給湯口にあてて湯温を確認し、表示温度と比較 ・給湯温度設定を高温、低温にし、給湯口の湯の温度が追従するか確認	□ OK・□ NG	
	⑦	浴槽内湯温表示の表示内容確認	水深 25 ㎝程度まで給湯し、手で槽内の湯が適温であることを確認し、表示と比較	□ OK・□ NG	
	⑧	高温時の警告及び給湯停止	高温側(45℃)に調整し給湯温度表示の数字が点滅し、46℃以上になったとき給湯が停止することを確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑨	連結動作	・ストレッチャー/洗浄台をガイド＆キャッチャーに押し当て、連結動作に問題ないことを確認（連結後、連結完了ランプの点灯を確認） ・ストレッチャーの分離ペダル/洗浄台の横移動ペダルを踏み、連結が解除できることを確認（連結完了ランプの消灯を確認）	□ OK・□ NG	
	⑩	担架の移動及び浴槽の昇降動作	・担架を浴槽に移動しロックさせ、入浴スイッチを押して、浴槽の昇降動作に異常が無いことを確認。 ・昇降動作中に異音が発生しないことを確認。 ・出浴させ、担架をストレッチャー/洗浄台に戻す時に担架がストレッチャー/洗浄台の外側に脱落しないことを確認。	□ OK・□ NG	
	⑪	シャワーミキシングバルブの温度調節	シャワーを出しながら温度調節ノブを回し高温低温の調節が可能か手で確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑫	シャワー高温ランプの確認	シャワーを出しながら温度調節ノブを高温側に回し､ランプが点滅することを確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑬	内カバーの外れ､ガタつき､取付ネジの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	⑭※	薬液の量	薬液補充ランプの消えていることを確認	□ OK・□ NG	

※殺菌装置（オプション）を搭載している場合

これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

ご使用になる前に

入浴剤、薬液の使用について

入浴剤について

入浴剤は液状のものを使用してください。
入浴剤を使用する場合は、入浴剤の使用上の注意をよく読んで、浴槽（FRP）や配管等に悪影響を及ぼすような成分(イオウ等)の入った入浴剤は使用しないでください。

⚠ **注意　・イオウ成分の入った入浴剤は、使用しない**

ご使用になると、浴槽の金属部が腐食等を起こしたり、浴槽表面の光沢を失ったりする恐れがあります。

・粉末状の入浴剤は使用しない

ご使用になると、溶け残ったものが配管内に付着して故障の原因になる恐れがありますので、入浴剤は液状のものを使用してください。
どうしても粉末状の入浴剤を使用したい場合は、別容器でよく溶かしてから使用してください。ただし、粉末状の入浴剤を使用したことによる故障については、保証期間内の製品でも保証対象となりませんのでご注意ください。

・着色剤が入った入浴剤を使用する際は注意する

色や、においが付くことがありますのでご注意ください。

薬液について（殺菌付きの場合）

本製品の塩素殺菌装置は、次亜塩素酸ナトリウム(1.5%溶液)専用です。他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用しないでください。

推奨品：㈱オーヤラックス製「ピューラックス(濃度 6%)」
（付属の希釈ボトルで次亜塩素酸ナトリウム(濃度 6%)を 4 倍に希釈して使用）

消耗品の補充に関しては、P.56 をお読みください。

⚠ **危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない**

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

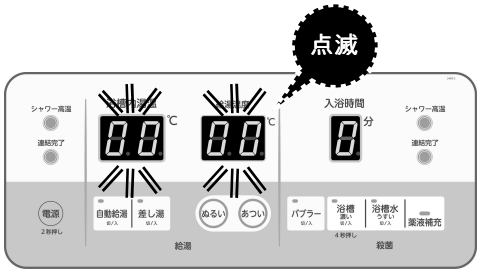
操作方法

電源の操作

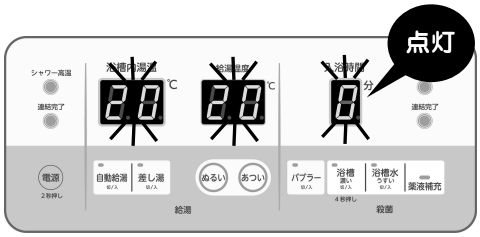
電源を入れる

1. 配電盤内にある専用の安全ブレーカーを ON にします。

安全ブレーカーを ON した後、機械はセットアップを開始します。(最長約 35 秒間)
その間、浴槽内湯温表示と給湯温度表示が点滅し、セットアップ中であることをお知らせします。
(点滅中の表示は、温度とは関係ありません)
点滅が終了すると、機器が使用可能となります。



2. 表示部の点灯を確認します。

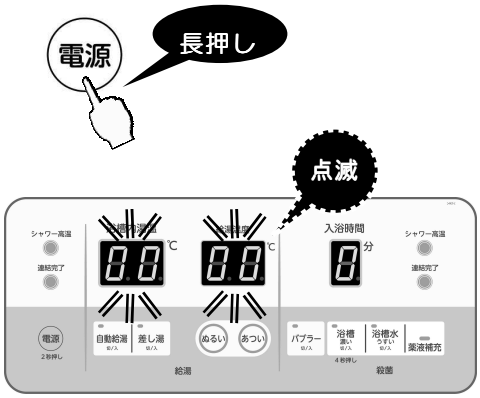


＜電源スイッチにて一時的に表示ランプ類を消灯させている場合＞

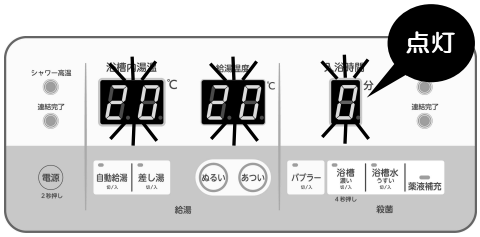
1. 電源スイッチを約２秒間長押しします。

電源スイッチを ON した後にも、機械はセットアップを開始します。(最長約５０秒間)その間、浴槽内湯温表示と給湯温度表示が点滅し、セットアップ中であることをお知らせします。

(点滅中の表示は、温度とは関係ありません)
点滅が終了すると、給湯機能は使用可能となります。



2. 表示部の点灯を確認します。



操作方法／電源の操作

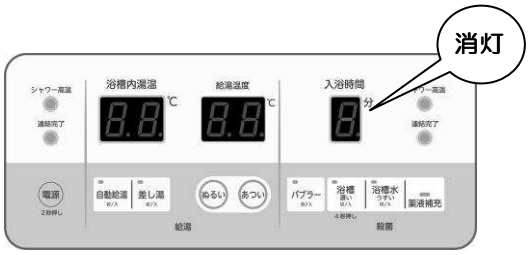
電源を切る

1. 電源スイッチを約２秒間長押しします。

参考

昼休み等で一時的に浴槽操作部の表示ランプ類を消灯させたい場合に、電源スイッチで電源を切ってください。

2. 表示部の消灯を確認します。



3. １日の作業終了後、配電盤内にある専用安全ブレーカーを OFF にします。

> ⚠ **注意**　使用後は電源スイッチで電源を切ってから、配電盤内にある専用の安全ブレーカーを切る

操作方法

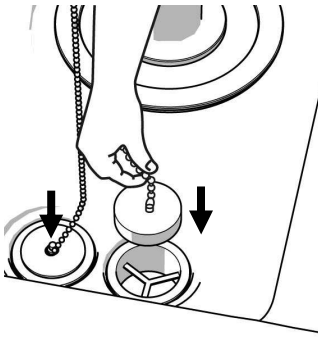
お湯をはる

本製品には火傷防止のため、高温の湯は自動的に停止させ、また浴槽内の湯温が高温の時は浴槽を上昇させない火傷防止機能が内蔵されています。給湯の使用可能な温度範囲は下記の通りです。

<table>
<tr><th></th><th>～35℃</th><th>36℃</th><th>42℃</th><th>43℃</th><th>44℃</th><th>45℃</th><th>46℃～</th></tr>
<tr><td>自動給湯</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">可能</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td colspan="2" rowspan="2">可能
（給湯温度表示点滅）</td><td rowspan="2">不可
（給湯温度表示点滅）</td></tr>
<tr><td>差し湯</td></tr>
<tr><td>ハンドシャワー</td><td></td><td>可能</td><td></td><td colspan="4">可能（ランプ点灯）</td></tr>
<tr><td>入浴操作</td><td></td><td>可能</td><td></td><td></td><td colspan="3">不可(浴槽内湯温表示 点滅)</td></tr>
</table>

排水栓を閉じる

２ヵ所の排水口に排水栓を入れます。



操作方法／お湯をはる

自動給湯で給湯する

自動給湯は、適正水位まで給湯し自動的に給湯を停止します。

・適正水量より少なくなった場合は、もう一度自動給湯を行うことで、適正水量にすることができます。
少なくなった湯を自動的に補充し続ける機能はありません。

1. 給湯温度表示を見ながらあつい、ぬるいスイッチを押し、お好みの設定温度に設定します。

43℃以下	44℃	45℃	46℃
給湯可能	給湯可能（給湯温度点滅）		給湯不可（給湯温度点滅）

参考

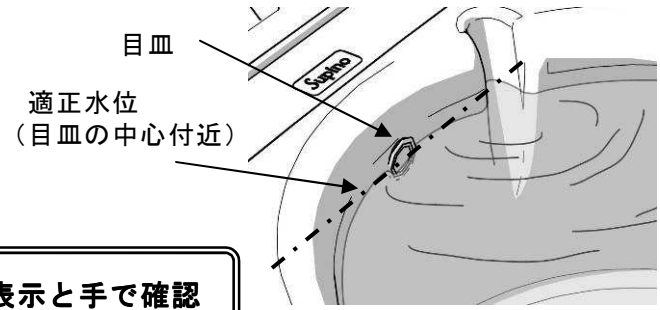
・給湯温度表示は、あつい、ぬるいスイッチを操作している時は、設定温度を表示します。設定終了後、約２秒で実際の湯温の温度表示に自動で切り替わります。給湯が開始されていない場合は、配管内に溜まっている水の温度を表示します。

・設定温度が「C0」と表示されると、給湯の際は水に近い温度になります。

2. 自動給湯スイッチを押します。

・上部の表示ランプが点灯し、給湯口から給湯が開始されます。

・適正水位（目皿の中心付近）で自動的に給湯が停止し、ランプが消灯します。



⚠ 警告　給湯温度を「給湯温度」表示と手で確認

参考

始めの給湯を自動給湯で給湯することで、入浴時にオーバーフローする湯量を節約することができます。（体格差によります）

操作方法／お湯をはる

差し湯で給湯する

差し湯は水位に関係なく、常にお湯を給湯します。
余分な湯はオーバーフローより排出されます。

1. 給湯温度表示を見ながらあつい、ぬるいスイッチを押し、お好みの設定温度に設定します。

43℃以下	44℃	45℃	46℃
給湯可能	給湯可能 （給湯温度点滅）		給湯不可 （給湯温度点滅）

参考

・給湯温度表示は、あつい、ぬるいスイッチを操作している時は、設定温度を表示します。設定終了後、約２秒で実際の湯温の温度表示に自動で切り替わります。給湯が開始されていない場合は、配管内に溜まっている水の温度を表示します。
・設定温度が「C0」と表示されると、給湯の際は水に近い温度になります。

2. 差し湯スイッチを押します。

・上部の表示ランプが点灯し、給湯口から給湯が開始されます。

・差し湯を止めるときは、もう一度差し湯スイッチを押してください。ランプが消灯し、給湯が停止します。

⚠ 警告　給湯温度を「給湯温度」表示と手で確認

参考

自動給湯中に差し湯スイッチを押した場合、自動給湯のランプと、差し湯のランプが点灯します。適正水位（目皿の中心）で自動給湯のランプは消灯し、差し湯を続けます。

⚠ 警告　入浴中に高温の湯を差し湯するときは、入浴者の足先にかからないように注意

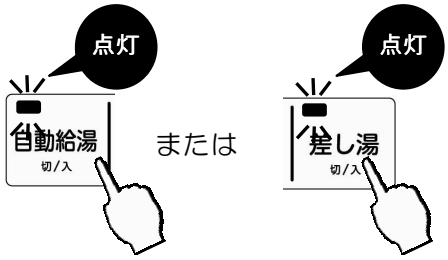
操作方法

給湯が停止した場合

高温の湯（46℃以上）が給湯された場合、火傷防止機能が働き、給湯が自動停止します。
下記の操作を行うことで、給湯を再開することができます。

1. ぬるいスイッチを押し、45℃以下に設定温度を設定します。

2. 自動給湯スイッチ、または差し湯スイッチを押します。



・自動給湯の表示ランプ、または差し湯の表示ランプが点灯し、給湯が開始されます。

お願い

・給湯の設定温度を 45℃以下に設定していた場合でも、浴槽へ接続している配管内の急激な水圧の変動により高温（46℃以上）が約 5 秒間以上続いた場合、火傷防止機能が作動し、給湯が停止することがあります。

・給湯再開の操作後も配管内に高温の湯が残っている場合は、火傷防止機能が働き再度給湯が停止することがあります。

・自動給湯中、適正水位以下で高温となった場合は上記操作で給湯再開しますが、適正水位付近の場合はそれ以上給湯されません。給湯温度を下げるには、差し湯機能にて湯の追加を行ってください。

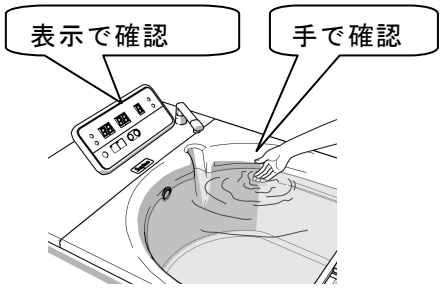
操作方法／入出浴作業

ご使用の機器がストレッチャー（A）もしくは洗浄台（B）のいずれかにより、連結操作・分離操作の方法が異なります。分離操作に関しては P.35～36 をお読みください。

A：ストレッチャーの場合

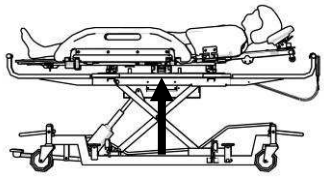
ストレッチャーを浴槽へ連結する　1～5

1. 浴槽内の湯量と湯温を確認します。



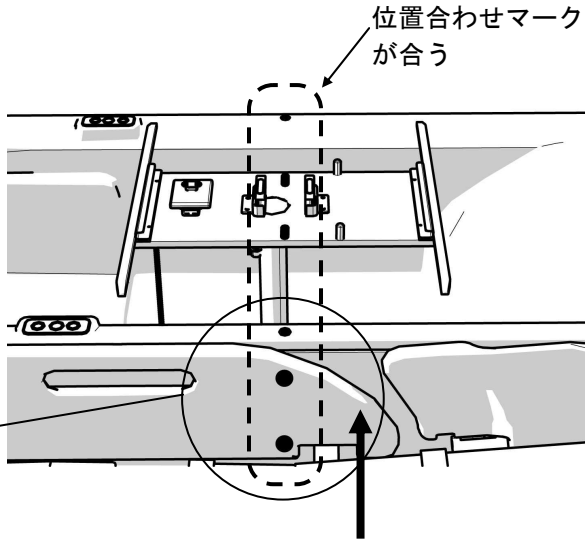
> ⚠ **警告**　入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認

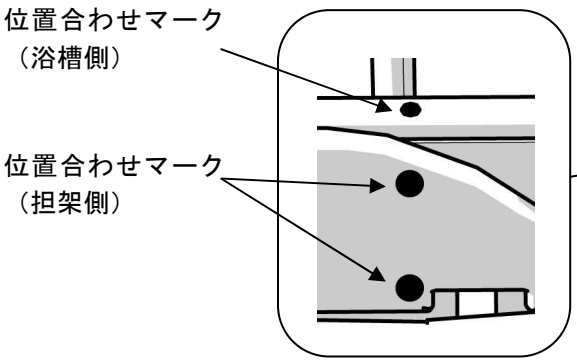
2. ストレッチャーが上限まで上昇していることを確認します。
（高さ調節式ストレッチャーの場合）



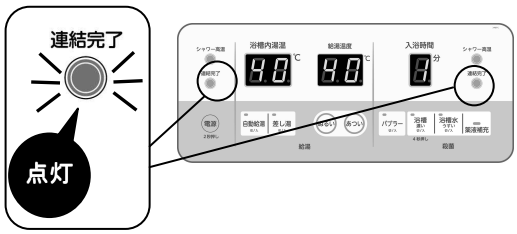
> ⚠ **注意**　ストレッチャーを浴槽に連結させるときは、ストレッチャーを上限まで上昇させる（高さ調節式のみ）

3. 浴槽の青い位置合わせマークを目安に、担架の青い位置合わせマークが合うように、ストレッチャーを浴槽側へ押し付けます。





4. 連結完了後、メインパネルの連結完了ランプの点灯を確認します。

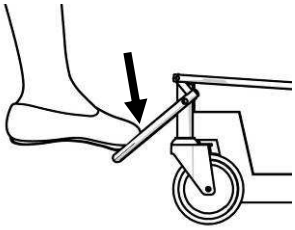


・センタータイプは、左右のうちストレッチャーを連結した側と同じ側のランプが点灯します。

・R、L タイプは、ストレッチャーを連結すると両方のランプが点灯します。

⚠ 警告　・ストレッチャーを浴槽へ連結後、連結完了ランプの点灯を確認すること
・担架のロック解除レバーは、連結ランプの点灯を確認するまで操作しない

5. キャスターをロックします。

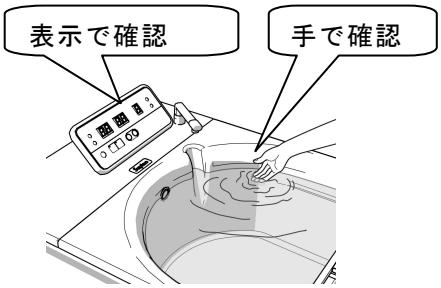


⚠ 警告　ストレッチャーが浴槽のガイド＆キャッチャーに連結されたことを確認してから、キャスターをロック

B：洗浄台の場合

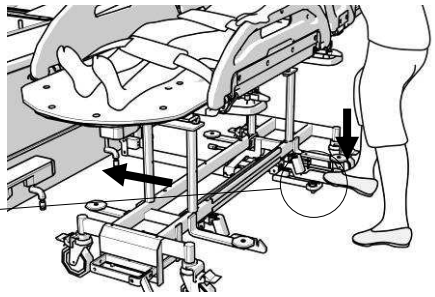
洗浄台を浴槽へ連結する 1～5

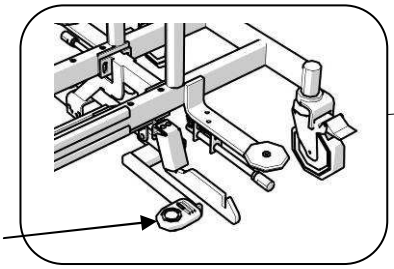
1. 浴槽内の湯量と湯温を確認します。



> ⚠ **警告**　**入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認**

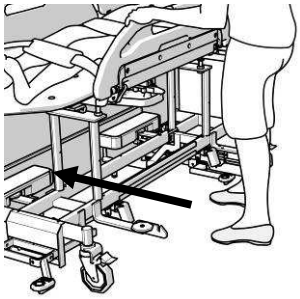
2. 洗浄台の横移動ペダルを踏みながら、全体を浴槽方向へ押し出します。



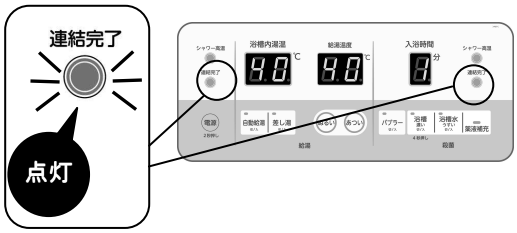


3. 少し移動した後、ペダルから足を離し、押しながら止まるまで移動します。

・ストッパーがかかる位置で固定されます。



4. メインパネルの連結完了ランプの点灯を確認します。

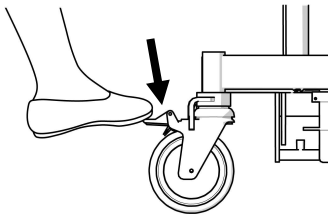


・センタータイプは、左右のうち洗浄台を連結した側と同じ側のランプが点灯します。

・R、L タイプは、洗浄台を連結すると両方のランプが点灯します。

⚠ 警告　・洗浄台を浴槽へ連結後、連結完了ランプの点灯を確認すること
・担架のロック解除レバーは、連結ランプの点灯を確認するまで操作しない

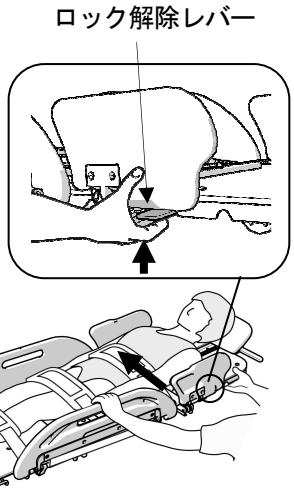
5. ４ヶ所のキャスターをロックします。



⚠ 警告　洗浄台が浴槽のガイド＆キャッチャーに連結されたことを確認してから、キャスターをロック

操作方法／入出浴作業

担架を浴槽内へ移動する

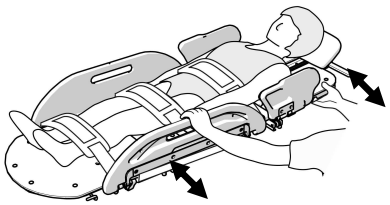


1. 担架の[ロック解除レバー]を握り、担架のロックを解除し浴槽内にゆっくりと移動します。

⚠ 警告　介助者の手の挟み込みに注意

⚠ 注意　レール台の上に物を置かない

2. 移動後、担架が浴槽中央にロックされていることを確認します。



お願い

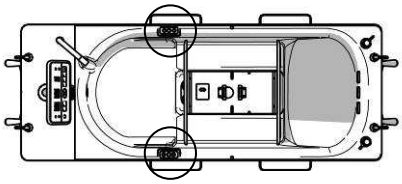
ロック解除レバーを握ったままですと、担架は浴槽中央にロックされません。手を離してください。

⚠ 警告
- **担架を浴槽に移動し、浴槽中央にロックした後は、押し引きしてロックを確認**
- **担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う**

操作方法／入出浴作業

浴槽を上昇させ入浴させる

入浴操作は、浴槽フチにある２ヶ所の入出浴操作部で行います。(センタータイプのみ。R/L タイプは片側浴槽フチにある入出浴操作部)

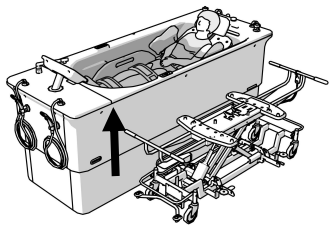


火傷防止機能により、入浴操作ができる浴槽内の温度範囲は下記の通りです。

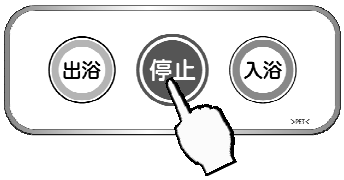
～43℃	44℃～
入浴できます	入浴できません(浴槽内湯温表示 点滅)

1. 入浴スイッチを押します。

・浴槽が水深約 280mm まで上昇します。浴槽の上昇に連動して、担架の背もたれが最大約 20 度起き上がります。



途中で上昇を止めたい場合は、停止スイッチを押します。



⚠ 警告　・入浴スイッチを押す前に担架のロックを確認
・入浴中は入浴者の状態を常に看視すること

⚠ 注意　入浴スイッチを押す前に浴槽内に不要物がないことを確認

2. さらに深くまで入浴させたい場合は、再度入浴スイッチを押します。

・スイッチを押している間だけ浴槽が上昇し、最大約50mm 水深が深くなります。

参考

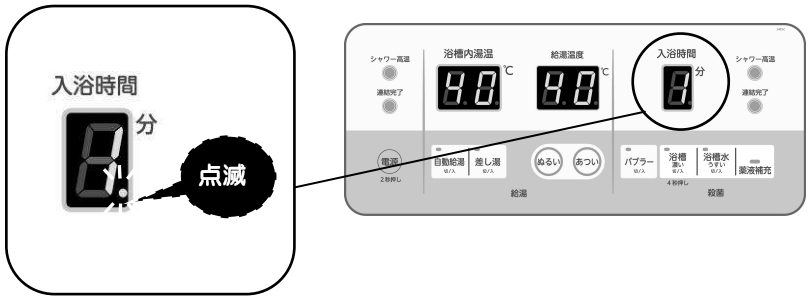
担架の背もたれを持ち上げてリクライニング角度を固定することも出来ます。

お願い

入浴の際に背もたれに寄りかかれない方の場合、自動リクライニング後に浮力により背もたれが浮くことがありますので入浴者の状態に注意してください。

入浴時間表示の見方

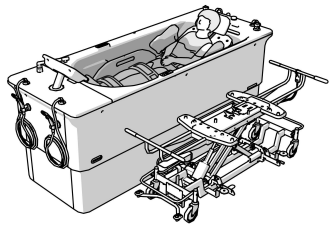
浴槽が上昇し始めると、入浴時間の計測が開始されます。
（時間計右下のドット(・)が点滅し計測中であることを知らせます）
0～9 分までは 1 分毎に表示し、10 分以上は、9.の点滅になります。
出浴操作を行い、浴槽の下降動作が完了すると入浴時間がリセットされ、表示が 0 に戻ります。



操作方法／入出浴作業

浴槽を下降させ出浴させる

1. 出浴させたい側にストレッチャー／洗浄台が連結されていることを確認します。



・ストレッチャーの高さが上限にあることを確認します。
（高さ調節式ストレッチャーのみ）

> ⚠ **警告　ストレッチャーを上限まで上昇させる**

2. 出浴させたい側の出浴スイッチを押し、出浴します。

・浴槽が下降します。浴槽の下降に連動して担架の背もたれが倒れます。

> ⚠ **警告　浴槽を下降させるときは、入入浴者の状態に注意**

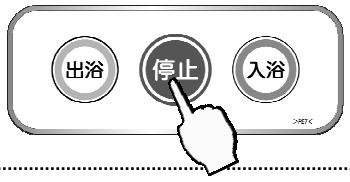
> ⚠ **注意　浴槽を下降させるときは、浴槽の周囲に物がないことを確認**

お願い

・担架の脱落を防止するため、ストレッチャー／洗浄台が連結されていないと、浴槽は最下限より約 140mm高い位置で自動停止します。その場合は、ストレッチャー／洗浄台を連結し、出浴スイッチを再度押してください。

・なお、ストレッチャー／洗浄台を連結しなくても、再度出浴スイッチを押すことで浴槽は下降しますが、担架を移動する前には必ずストレッチャー／洗浄台の連結を確認してください。

途中で動作を止めたい場合は、停止スイッチを押します。



お願い

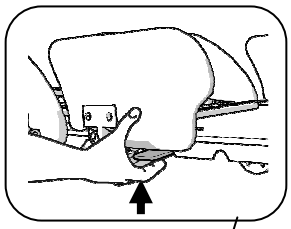
・浮力により担架の背もたれが起きた状態で出浴してしまうことがあります。その場合、出浴後に背もたれを倒してください。

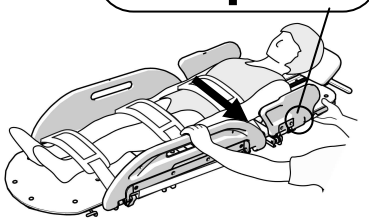
・担架の背もたれを起こして入浴した場合、浮力でロックが解除されることがあります。

操作方法／入出浴作業

担架をストレッチャー／洗浄台へ移動する

1. 担架の[ロック解除レバー]を握りロックを解除後、担架をストレッチャー／洗浄台の上にゆっくりと戻します。





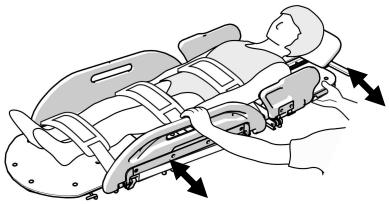
お願い

担架を移動し始めたら、ロック解除レバーから指を離してください。手を握ったままですと、担架が続いて移動しません。

> ⚠ **警告　担架を移動し始めたら、必ず担架ロック解除レバーから指を離す**

> ⚠ **注意　レール台の上に物を置かない**

2. 移動後、担架がストレッチャー／洗浄台にロックされていることを確認します。



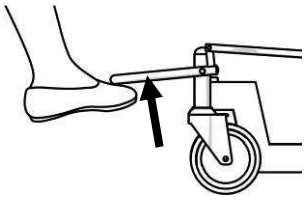
> ⚠ **警告　・担架をストレッチャー／洗浄台に移動した後は、押し引きしてロックを確認**
>
> **・担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う**

操作方法／入出浴作業

A：ストレッチャーの場合

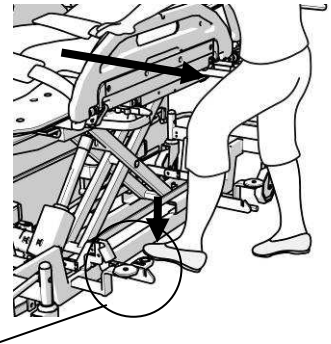
ストレッチャーを分離する

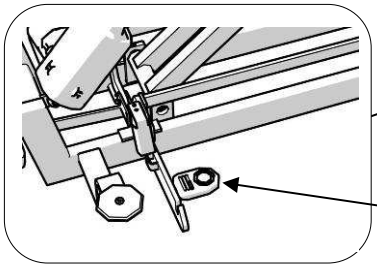
1. ストレッチャーのキャスターストッパーを跳ね上げ、キャスターのロックを解除します。



2. ストレッチャー分離ペダルを踏みながら、全体を浴槽から離す方向に引きます。少し移動した後はペダルから足を離します。

・連結が解除されストレッチャーが離れます。





⚠ 警告
- **担架がストレッチャー、または浴槽にロックされたことを確認するまで分離ペダルを踏まない**
- **ペダルには極端な荷重をかけない**
- **連結解除の後は、速やかにペダルから足を離す**

⚠ 注意
- **浴槽から分離する際は、ストレッチャーを平行に引く**
- **浴槽からうまく分離できない場合、無理にペダルを踏みつけず再度連結してから改めて分離操作を行う**

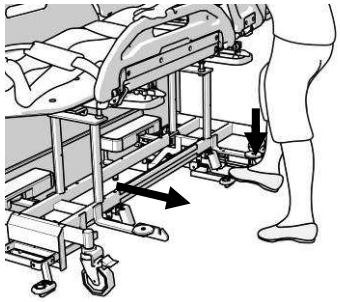
お願い

浴槽からストレッチャーがうまく分離できない（片側のフックのみ外れる等）場合は、無理に分離ペダルを踏みつけたりせず、ストレッチャーを浴槽に再度しっかり連結させて、改めて分離操作を行って下さい。無理な操作を行うと、機器を破損するおそれがあります。

B：洗浄台の場合

洗浄台を分離する

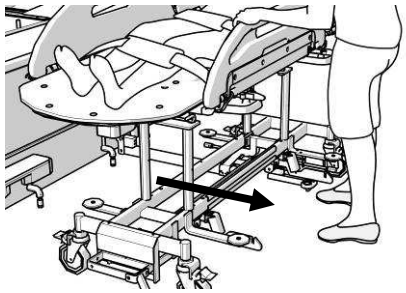
1. 洗浄台 横移動ペダルを踏みながら、全体を浴槽から離す方向に引きます。



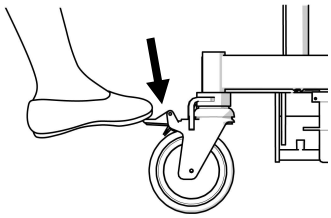
> ⚠ **警告　担架が洗浄台、または浴槽にロックされたことを確認するまでペダルを踏まない**

2. 少し移動した後、ペダルから足を離し、引きながら止まるまで移動します。

・ストッパーがかかる位置で固定されます。



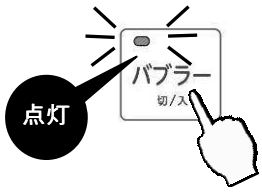
3. ４ヶ所のキャスターをロックします。



操作方法

バブラーの使い方 ※オプション CB-10 付のみ

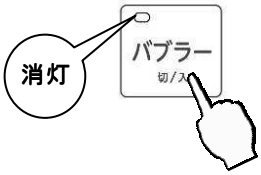
1. バブラースイッチを押します。



・浴槽の底面の気泡発生管から気泡が出ます。

・上部の表示ランプが点灯します。

停止するときは、もう一度バブラースイッチを押します。



参考

バブラーは浴槽内に湯がなくても操作可能です。配管内に残った湯を排出するためにご使用頂けますので、P.48 の清掃時の操作と合わせてご利用ください。

お願い

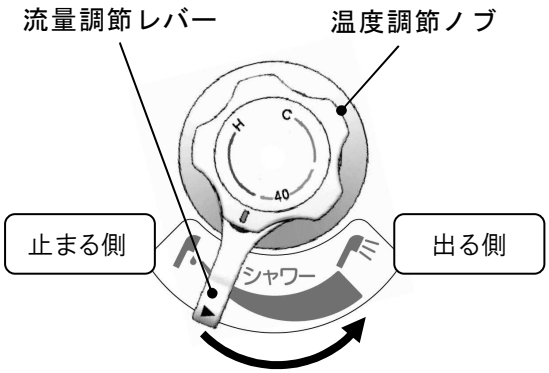
浴槽内に湯が無い状態でバブラーを使用すると配管内に残った湯が飛び散るので、注意してください。

操作方法

ハンドシャワーの使い方　1～3

1. 流量調節レバーで、流量調節を行います。

・シャワーヘッドから湯が出始めるので、注意してください。

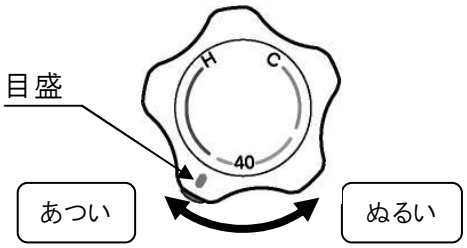


⚠注意　流量調節ノブはゆっくり回す

2. 温度調節ノブで、温度調節を行います。

・温度調節ノブをHの方に回すと温度が上がり、目盛「40」の付近まで調節できます。

・温度調節ノブをCの方に回すと温度が下がります。

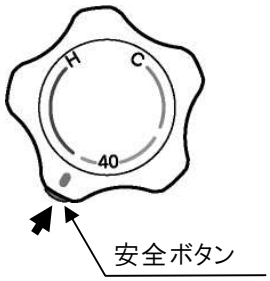


⚠警告　・シャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中も絶えず手で温度を確認
・シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

40℃以上の湯を出すには、安全ボタンを押しながら、温度調節ノブで温度を調節してください。

・温度調節ノブは誤って高温の湯を出さないように、安全ボタンが付いています。

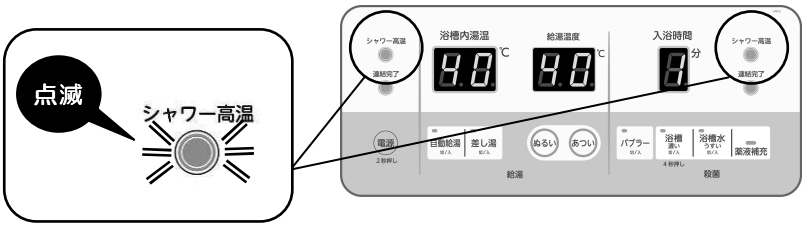
・やけどを防止するため、通常はノブの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。



⚠警告　シャワーで高温のお湯を使用した後は、温度調節ノブを適温に戻す

操作方法／ハンドシャワーの使い方

・シャワーの湯温が 43℃以上になった場合は、高温警告ランプが点滅して、高温であることを知らせます。

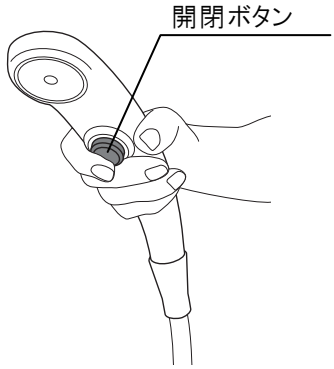


・センタータイプでは、ハンドシャワーの位置（R 側、L 側）に対応して、それぞれの側のランプが独立して点滅します。

・R、L タイプは、高温になると全てのランプが点滅します。

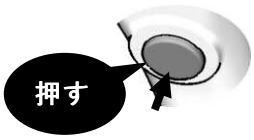
～42℃	43℃～
使用可能	使用可能（警告ランプ点灯）

一時的にシャワーを止めたい場合は、開閉ボタンを押します。

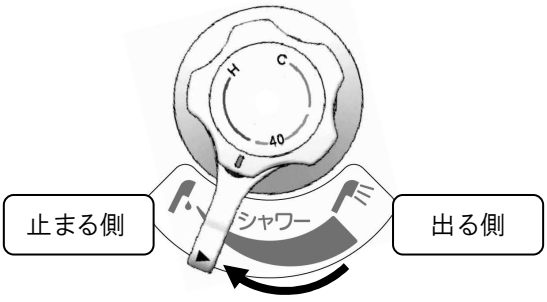


閉じる（止める）

開く（出す）



3. 流量調節レバーを止まる側に回し、シャワーを止めます。

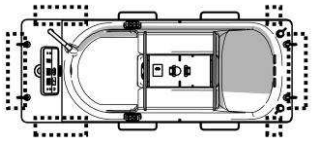


⚠注意　シャワーの使用後は、シャワーの開閉ボタンを「開く」の状態にしたまま流量調節レバーでシャワーを止める

操作方法

シャワーフックの取り付け方

吸盤式のため、右図 ┈┈ の範囲でお好みの位置にシャワーフックが取り付けられます。

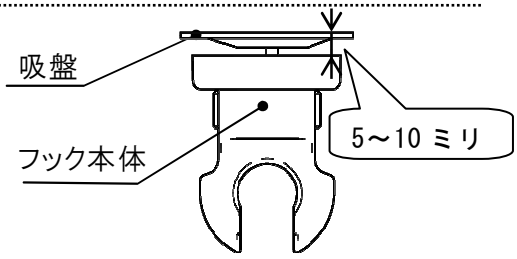


1. 取り付ける面の汚れ、水滴などをきれいに拭きます。

お願い

・基本的に平面部分を選び、下記の箇所を避けて取り付けてください。
　・シールが貼ってある部分
　・キズがついた箇所
・ストレッチャー／洗浄台を移動させる際に、シャワーヘッドやホースが接触しないような場所にフックを取り付けてください。

2. フック本体を左に回してフック本体と吸盤の隙間を 5～10 ミリ程度開きます。

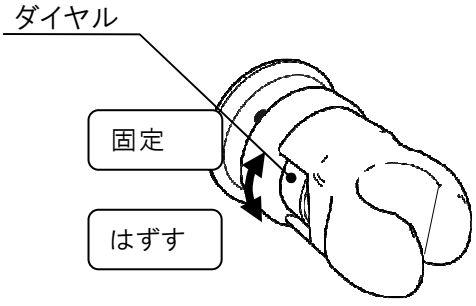


3. フック本体を持って吸盤を取り付け面に押し当てます。

お願い

フック本体を外カバーに押し当てる際は、カバーを強く押さないでください。

4. フック本体を右に回し吸盤に近づけ、フック本体の向きを確認してからダイヤルをいっぱいまで右に回して固定します。



⚠注意　ダイヤルを十分回して固定する

5. しっかり吸着していることを確認します。

※取り外す際は、2～5 と逆の手順を行います。

操作方法

塩素殺菌 ※オプション CB-10 付のみ

浴槽殺菌（全工程 約 10 分）

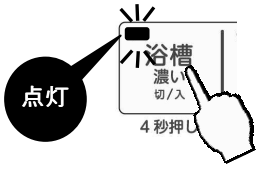
浴槽と担架を殺菌することができます。
適正湯量に対して約 1.0ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽と担架の殺菌を行うものです。
毎日の入浴作業終了後に行うことをお奨めします。

1. 自動給湯スイッチを押します。

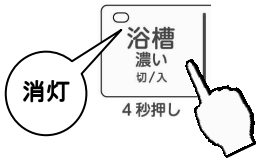
・適正水位（目皿の中心）まで給湯されていることを確認し、不足している場合は給湯してください。

2. 浴槽濃いスイッチを約４秒間長押しします。

・上部の表示ランプが点灯するまで長押ししてください。ランプが点灯し、自動的に薬液が吐出されます。
・薬液吐出後、バブラーによる攪拌が自動的に２度行なわれます。
・浴槽殺菌が終了すると、表示ランプは消灯します。

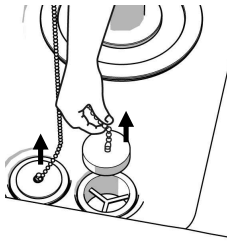


殺菌を途中で停止する場合は、
浴槽濃いスイッチを再度押してください。



・約 10 分で殺菌が終了し、表示ランプが消灯します。

3. 消灯後 3 分以上放置した後に、浴槽の湯を排水してください。



P.42 の浴槽内の清掃方法に従って清掃してください。

参考

ご使用の浴槽が殺菌装置を搭載していない場合、P.49「手動での殺菌方法」を参照してください。

操作方法

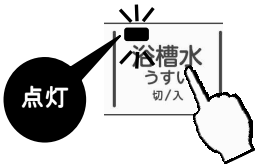
浴槽水殺菌

浴槽の湯を殺菌することができます。
適正湯量に対して約 0.6ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽水(お湯)の殺菌を行うものです。
昼休み時間(菌の増殖を抑える)や、失禁等による湯の入れ替え後に行ってください。

1. 自動給湯スイッチを押します。

・適正水位(目皿の中心)まで給湯されていることを確認し、
不足している場合は給湯してください。
（適正水位より少ない場合、殺菌装置は作動しません）

2. 浴槽水うすいスイッチを押します。



・上部の表示ランプが点灯し、自動的に薬液が浴槽水へ吐出されます。

・薬液吐出後、バブラーによる攪拌が自動的に２度行なわれ、浴槽水の殺菌が終了すると、表示ランプは消灯します。

お願い

浴槽水殺菌は、繰り返し操作による薬液濃度の上昇を防止するため、スイッチの操作後、**約１時間はランプが点灯し、停止や再操作ができないようになっています。**再度浴槽水の殺菌を行う場合は、ランプ消灯後に行ってください。

参考　「公衆浴場における衛生等管理要領について」（抜粋）
厚生省(現厚生労働省)通達　(生衛発第 1811 号、H12.12.15)

●適用の範囲：公衆浴場及び浴場業

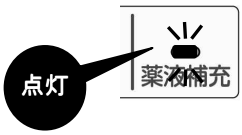
・浴槽の清掃は毎日、消毒は月一回以上行うこと。ろ過装置付きの場合は、ろ過部の消毒及び逆洗を週一回以上行うこと。

・浴槽水の消毒に用いる塩素系薬剤の濃度は、遊離残留塩素濃度を 1 日 2 時間以上 0.2～0.4 mg/L《ppm》に保つことが望ましい。

操作方法

薬液補充について ※オプション CB-10 付のみ

薬液が少なくなると、薬液補充ランプが点灯します。
点灯した場合は、速やかに薬液を補充してください。
補充は、次の手順で行ってください。



薬液の作り方

次亜塩素酸ナトリウムを 4 倍に希釈し 1.5%溶液を作ります。

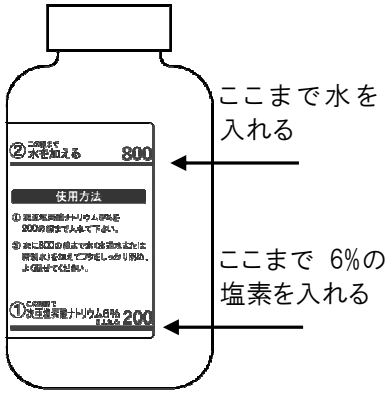
＜用意するもの＞

①付属の希釈ボトル
②市販の 6%次亜塩素酸ナトリウム 200mL
③水道水または精製水 600mL
④保護具（ゴム手袋）

⚠注意 ・使用期限内のものを使用する
・当社指定外の薬液を使用しない

1. ゴム手袋を着用します。

2. 付属の希釈ボトルの蓋を開け、市販の次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液を 200 の線まで入れます。



3. 水（水道水または精製水）を 800 の線まで加えます。

4. 蓋をしっかり閉めて、よく混ぜてください。

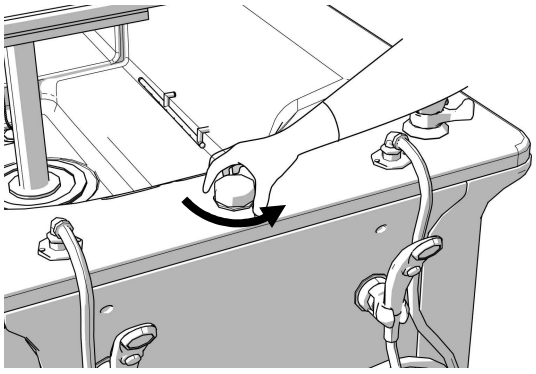
操作方法

薬液の補充方法

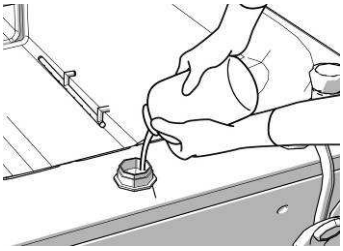
1. 出浴スイッチを押して、浴槽を最下位まで下げます。

2. 電源スイッチを長押しし、電源を切ります。

3. 薬液補充口の蓋を反時計回りに回して開けます。



4. 希釈した薬液を、こぼさないように薬液補充口に入れます。

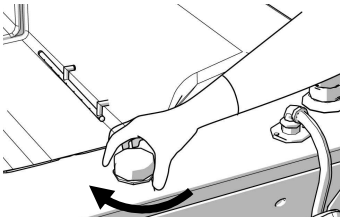


> ⚠注意　補充薬液は濃度が 1.5%のものを使用する

参考

薬液タンクは、薬液補充ランプが点灯後、希釈ボトル１本分（800mL）補充できます。

5. 薬液補充口の蓋を時計回りに回して閉めます。



6. 希釈ボトルを水でよく洗浄します。

操作方法／薬液補充について

⚠警告　誤って薬液を飲んだり、目に入った場合は、応急処置後、医師に相談する

⚠注意　薬液補充の際は注意する

・十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。

・浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。

・周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。

・希釈した薬液は、1 回毎に使い切り、作り置きはしないでください。

・空になった容器は、よく洗い流して保管してください。

・薬液が誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す

タンク内の薬液の排出

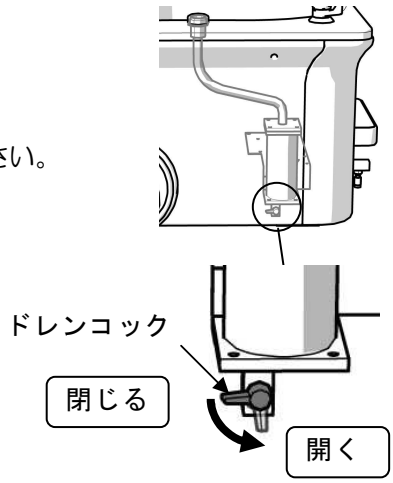
薬液タンク内の薬液は、補充してから 30 日を過ぎた場合、経時変化により殺菌効果が弱くなります。

その際は、下記操作にてタンク内の薬液を排出し、新しい薬液に入れ替えてください。

1. タンク下のドレンコックを下へ回します。

・薬液排出後は、忘れずにコックを左に回して閉じてください。

・排出した薬液は、速やかによく水で洗い流してください。



⚠注意　薬液排出の際は注意する

・十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。

・浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。

・排出する薬液は濃度を水で十分に薄めてから処理してください。

操作方法

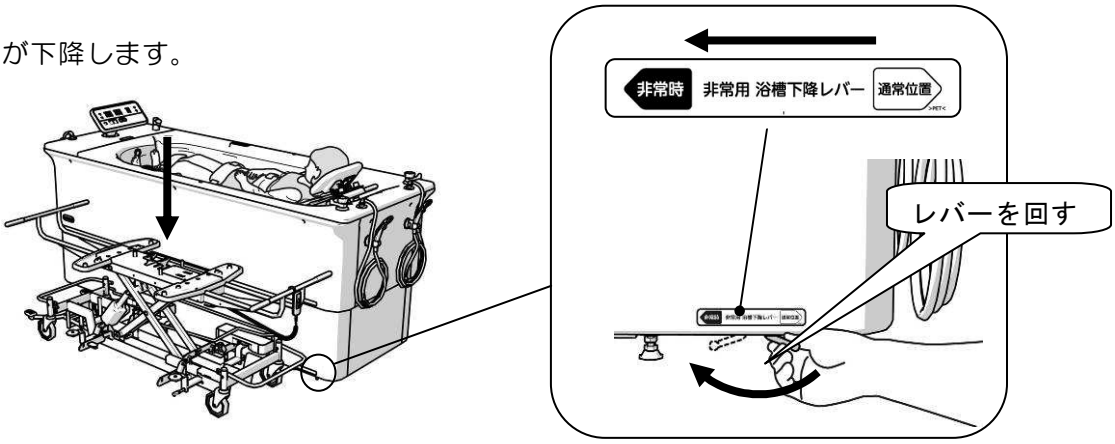
非常時の操作　1～5

入浴中、停電または故障により装置が動かなくなったときは、以下の手順で浴槽を下降させ、入浴者を浴槽から出して、入浴作業を中止してください。

・浴槽の周囲に、浴槽が下がった際に挟み込むものがないかを確認します。

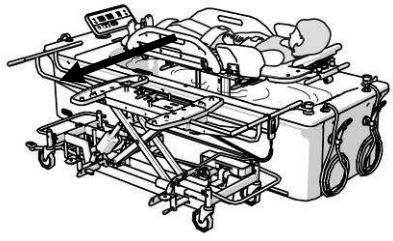
1. 図の位置にある非常用浴槽下降レバーを非常時の方向に回します。

・浴槽が下降します。



2. 浴槽が最下位まで下降して止まったのを確認し、担架をストレッチャー／洗浄台の上へ移動します。

・浴槽からストレッチャー／洗浄台が離れている場合は、連結してください。



3. 給湯水の元バルブを閉じます。

お願い

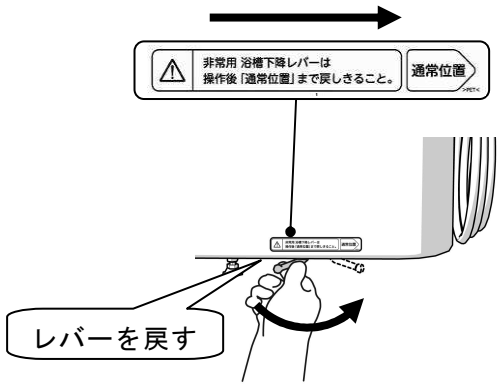
停電時に万一給湯中だった場合、浴槽内に給湯をし続けてしまいます。浴室、または浴室近辺の元バルブを閉じて、お湯を止めてください。

4. 配電盤内にある専用安全ブレーカーを OFF にします。

お願い

ブレーカーを OFF にしなかった場合、電源復帰後に誤動作を起こす可能性があります。安全のため、確実にブレーカーを OFF にしてください。

5. 非常用浴槽下降レバーを通常位置に戻します。



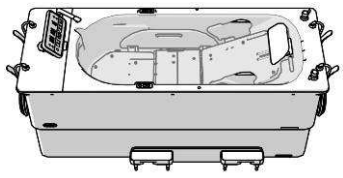
お願い

非常用浴槽下降レバーが非常時の位置にある場合、入浴操作ができません。通常位置まで、確実に戻してください。

日常のお手入れ

清　掃

1日の入浴作業終了後は、下記の方法で清掃を行ってください。

部品名	清掃方法
浴槽内	① 浴槽内の２ヶ所の排水栓を抜き、排水してください。 ② 浴槽用の中性洗剤とスポンジ等の柔らかいもの使用して洗浄し、よく水で洗い流してください。 ③ 気泡発生管内に残った湯をバブラー機能を使用して排出してください。（※オプション CB-10 付のみ） ※レール台付近の清掃の際は、レール台に頭をぶつけないように注意してください。 ※浴槽の排水は、浴槽が下降していないと行えません。 ※ホースやシャワー等で洗浄するのは、浴槽内側だけにしてください。外側、特に操作部には水をかけないでください。 ※浴室床面を洗う際には水がはねかからないように注意してください。 ※本製品は、ＦＲＰ製のため、たわし等で擦ると傷がつきます。 ※『浴槽クリーナーＡ』が少なくなりましたら、最寄りの営業所にご連絡ください。
給湯操作部 入出浴操作部	布で軽く拭く程度にしてください。
スレンレス部 （レール台等）	ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴を拭いてください。
担架のフレーム (※オプション CB-10 付のみ)	浴槽のバブラーを利用して洗浄 担架を浴槽に入れ、バブラーを作動させることで担架を簡易洗浄することができます。 浴槽殺菌と併用することで、担架の殺菌を行うことも可能です。 

日常のお手入れ／清掃

手動での殺菌方法

塩素殺菌装置（オプション）を搭載していない場合、下記の手順で殺菌を行ってください。

- 濃度約 1ppm の薬液を浴槽に満たして、浴槽内側と担架を殺菌します。
- 毎日の入浴作業終了後に行うことをお奨めします。

作業手順	備考
①自動給湯で、適正水位になるまで水をためる	
②**6%の次亜塩素酸ナトリウム 8.5mL** を浴槽へ投入	適正水位の湯量 392L に対して、約 1ppm の濃度になります。 －当社推奨値－ **機体に原液が直接かからないように注意してください。**
③水をよく撹拌	
④担架を浴槽の水に浸ける	
⑤３分間放置	
⑥担架を浴槽から出す	
⑦排水する	
⑧浴槽と担架をシャワーで水洗いする	薬液をよく洗い落とします。

- 薬液の原液には、**次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液**を使用してください。他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用しないでください。

> ⚠**危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない**
> 人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

日常のお手入れ

メンテナンス

・浴槽レール台の支柱にシリコングリスがなくなった場合は、付属のシリコングリス(信越シリコン G501：付属品)を塗布してください。
消耗品の補充に関しては、P.56 をお読みください。

> ⚠**注意**　**当社指定のシリコングリスを使用する**
> 他のグリスを使用すると、故障の原因になります。

・本浴槽は油圧駆動方式を採用しています。オイルタンク内にごみや水分が混入すると故障の原因となりますので、2 年に一度作動油の交換が必要です。
（弊社サービスマンにご用命ください）

このようなときは

まずは次の内容を確認いただき、なお異常があるときは
最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
給湯関係	自動給湯、差し湯スイッチを押しても、浴槽内に給湯できない	●電源は入っていますか？ →①ブレーカーを ON にしてください。 ②メインパネルの電源スイッチを長押ししてください。	P.20
		●適正水位（目皿の中心）まで給湯されていませんか？ （自動給湯は、適正水位以上は給湯できません） →適正水位（目皿の中心）より、更に給湯したい場合は、差し湯にて給湯を行なってください。	P.23
		●給湯温度が 46℃以上になっていませんか？ （湯温管理システムが作動、温度表示が点滅） →給湯温度の設定を下げ、再度自動給湯スイッチを押してください。（給湯温度が 45℃以下に下がった後、浴槽内に給湯されます）	P.23
		●給湯水配管の元バルブが閉じていませんか？ →給湯水配管の元バルブを開けてください。	
	自動給湯が停止しない （自動給湯ランプの消灯）	●差し湯を行なっていませんか？ →差し湯スイッチを押し、差し湯を止めてください。	P.24
		●停電していませんか？ もしくは停電していた後ですか？ →復旧後に自動給湯が自動で停止します。復旧まで時間がかかりそうな場合は、停電中に給湯水配管の元バルブを閉めてください。復旧後は、必ず元バルブを開けてください。	
		●自動給湯開閉弁のトラブル →給湯水配管の元バルブを閉めた後、最寄りの営業所にご連絡ください。	
	給湯水量、または温度が安定しない	●他の設備で大量に湯水を使用していませんか？ →使用する時間をずらす等、使用時間を調整してください。 →給湯機の能力アップをご検討ください。	

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
給湯関係	**自動給湯の表示ランプ、または差し湯の表示ランプが点滅している**	**●給湯水圧の圧力比が 180 秒間以上、適正範囲外になっていませんか？** →圧力比が一時的な変動の場合、適正範囲内に戻ると、点滅が点灯に変わり正常に戻ります。 点滅が続く場合、または頻繁に点滅する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
連結関係	**ストレッチャー／洗浄台が連結されない**	**●ストレッチャー／洗浄台の押し込みは足りていますか？** →ストレッチャー／洗浄台を最後まで浴槽に押し付けてください。	P.26 P.28
		●浴槽との位置は合っていますか？（ストレッチャーの場合） →浴槽の位置合わせマークの真横に担架の位置合わせマークが来るように、連結してください。	P.26
昇降関係	**入浴スイッチを押しても浴槽が上昇しない**	**●ストレッチャー／洗浄台は正しく連結されていますか？連結完了ランプは点灯していますか？**（安全装置が作動している） →正しい位置にセットしてください。	P.26 P.28
		●浴槽内湯温が 44℃以上になっていませんか？ （安全装置が作動、温度表示が点滅） →浴槽内湯温を 43℃以下に下げてください。	
		●担架は正しくセットされていますか？ →担架の位置を確認し、正しい位置にセットしてください。	P.30
		●非常用浴槽下降レバーが非常時の位置にきていませんか？ →通常位置まで、レバーを確実に戻してください。	P.47
	出浴スイッチを押しても浴槽が下降しない	**●入浴中に電源を落としていませんか？** →電源を入れてください。	P.20

このようなときは

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
昇降関係	出浴スイッチを押しても浴槽が下がり切らない	●ストレッチャー／洗浄台が正しくセットされていますか？連結完了ランプが消灯していませんか？ →正しい位置にセットしてください。	P.33
	作動時に異音がする	●レール台支柱のグリスが切れていませんか？ →指定箇所に付属のグリスを塗布してください。グリス切れでは無い場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	P.50
	浴槽の上昇スピードが遅い 入浴中に浴槽が次第に下降する	●非常用浴槽下降レバーが完全に通常位置まで戻っていますか？ →通常位置まで、レバーを確実に戻してください。	P.47
バブラー※	バブラーが作動しない	●塩素殺菌中ではありませんか？ →塩素殺菌を停止させるか、塩素殺菌終了後に、バブラーを使用してください。	
塩素殺菌※	薬液補充ランプが消えない	●薬液が補充されていますか？ →薬液を補充してください。 →薬液タンクのドレンコックは閉じてください。	P.43 P.45
	浴槽水・浴槽殺菌が作動後、すぐに停止した	●作動後に適正水位より水位が下がっていませんか？ （適正水位より水位が下がると、殺菌が自動停止します。） →適正水位まで給湯し、再度操作を行ってください。	
その他	シャワーヘッドから水が漏れる	●開閉ボタンの操作のみでシャワーを止めていませんか？ →開閉ボタンを「開く」状態にして、流量調節レバーでシャワーを止めてください。 （開閉ボタンの操作のみで長時間止水させると、水漏れの原因となります。）	P.39
	シリコングリスを使い切った	→当社指定品のご購入をお願いします。	P.56
	殺菌用の薬液（原液）を使い切った※	→当社推奨品のご購入をお願いします。	P.56

※オプション CB-10 付きのみ

このようなときは

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
給湯操作部の表示	給湯温度表示が「--」を表示している	●<u>水に近い温度で給湯される設定になっている</u> →故障ではありません。そのままご使用ください。	P.23
	給湯温度表示が「88」を点滅表示している	●<u>電気制御ミキシングのセットアップ中</u> →セットアップが終了するまで、お待ちください。正常な場合は、約 35 秒で給湯温度に切り替わります。	
	いずれかの温度表示が「E0」または「E1」を点滅表示している	●<u>温度センサーの故障</u> →最寄りの営業所にご連絡ください。	
	給湯温度表示が「E5」を点滅表示している 浴槽に担架を入れ入浴スイッチを押したときに、浴槽内温度表示、給湯温度表示が「bb」「bb」を表示する	●<u>担架位置の異常</u> →担架が浴槽内にある場合は、一度出浴操作をし、再度担架を入れなおしてください。尚、連続して「E5」を表示する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
	給湯温度表示が「E8」を点滅表示している	●<u>電気制御ミキシングのセットアップが所定の時間内に完了しなかった。（約 35 秒以内）</u> →操作パネルの電源を切り、再度電源を入れてください。尚、連続して「E8」を表示する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
	給湯温度表示が「E9」を点滅表示している	●<u>昇降装置の異常</u> →操作パネルの電源を切り、再度電源を入れてください。尚、連続して「E9」を表示する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
		●<u>非常用浴槽下降レバーが完全に通常位置まで戻っていますか？</u> →上昇速度の低下による表示です。通常位置まで、レバーを確実に戻してください。	

機器について

保守・点検について

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず P.17 の始業点検（日常点検）及び定期点検（月 1 回程度）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・**点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。**
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期点検項目　（月に 1 回程度、以下の定期点検を行ってください。）

区分	点検内容	点検方法
設備	・排水溝内のごみの有無と排水の流れの状態	・目視（ごみがあれば除去し清掃する）
外観	・湯及び水配管からの漏れ	・浴槽下を覗いて、床に漏れた跡がないことを確認
	・薬液配管からの漏れ（殺菌付きの場合）	
	・シャワーホースとシャワーヘッドの破損	・目視
（浴槽動作時）機能	・給湯温度の表示	・市販の棒状温度計で給湯口の吐出湯温を測定し、表示と比較する（表示差±1℃以内が正常）
	・浴槽内温度の表示	・じゅうぶんに湯を攪拌した後、棒状温度計で浴槽内の湯温（水深 25 ㎝程度の位置）を測定し、表示と比較する（表示差±1℃以内が正常）
	・非常用浴槽下降レバー	・浴槽が下降した状態で、非常用浴槽下降レバーを 非常時 方向に動かした後、通常位置 に戻す動作を行い、レバーが可動することを確認

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

機器について

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

・ 保証書（別添）は再発行致しませんので紛失されないよう大切に保管してください。
保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。

・ 保証期間は 1 年です。但し本体フレームおよび FRP 部品は 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。

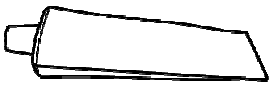
機種名　　：　浴槽　*CB-100C または CB-100R、CB-100L*
お買い上げ：　　年　月　日
故障状況(できるだけ詳細に)
住所，氏名，電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないでください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

シリコングリス （当社指定品:信越シリコン G501）	浴槽クリーナーA	次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液 （当社推奨品:ピューラックス　濃度 6%）
 駆動部支柱　塗布用		 （オプション CB-10 付のみ）

補充は、お客様により実施願います。

機器について

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

シャワーヘッド
シャワーフック
作動油

薬液ポンプの継手配管	オプション CB-10 付のみ
薬液チューブ	オプション CB-10 付のみ

・正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

シャワーホース
給湯給水ホース
排水ホース

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕 様

型　　式		CB100C､R､L
外形寸法 (L×W×H)	100C	2585×1180×865～1313 ㎜
	100R､L	2585×1078×865～1313 ㎜
浴槽内寸法(L×W×D)		1912×794×465 ㎜
湯　　量		約 505 リットル
実使用湯量		約 425 リットル
質　　量		約 490 kg
使用可能体重		100kg 以下
電　　源		三相 200Ｖ （50Hz/60Hz） 15Ａ
電　　力		540W/560W （50Hz/60Hz）
電源入力		1100VA （50Hz/60Hz）
材　　質	フレーム	スチール・粉体塗装仕上
	レール台	ステンレス
	浴槽・カバー	FRP
昇降機能	昇降方式	電動油圧リフタ方式：三相 200V 400W
	昇降ストローク	448mm
主な機能	自動給湯システム	適正水位自動停止、高温時自動停止
	安全機構	インターロック機構、火傷防止機能(高温給湯停止、浴槽内高温時上昇停止)、担架スライド防止、漏電ブレ-カ-
	その他	電子制御ミキシング、デジタル温度計、入浴時間表示、ハンドシャワー専用シャワーミキシングバルブ､リクライニングローラー、非常用浴槽下降レバー
付属品		浴槽クリーナーA、アワスプレー、シリコングリス、ハケ、シャワーフック（C タイプ：4 個、R／L タイプ：2 個）

塩素殺菌、気泡浴装置（セットオプション）搭載時

型　　式		CB-100 ＋ CB-10
電源入力		1350VA （50Hz/60Hz）
バブラー	エアポンプ	単相200V80W
殺菌装置	殺菌方法	塩素
	ポンプ	DC24V
	付属品	次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液・600ml、希釈ボトル

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。